

## 環境に優しい小水力発電

党愛知県議団

周辺地域の 魅力も観光も 県営の羽布ダムを調査



羽布ダムの小水力発電施設で説明を受ける党愛知県議団(正面6人)

視察し、ダムを活用した街づくりの取り組みを調査した。

同ダムでは、昨年12月に県内最大規模となる小水力発電施設(ダムからの放流水を利用した発電設備)を稼働させ、環境への負荷やコストの軽減を進めている。また今年3月からは、同ダムや周辺地域の観光情報を記載し、四季折々の風景をモチーフにした「四季カード」を配布するなど、ダムの見学者や観光客を呼び込むPR活動にも取り組んでいる。

一行は、同ダムの概要説明を受けた後、ダムや小水力発電施設を見て回り、発電時の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量が極めて少ないことなどの特徴について話を聞いた。

視察後、小島団長は「小水力発電や観光資源としての活躍を後押しし、水辺を生かした街づくりを今後も進めたい」と語っていた。

公明党愛知県議団(小島丈幸団長)はこのほど、県営の羽布ダム(豊田市)を